

# 日刊 動労千葉

82.3.1 No. 980

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五(六・八巻) 電話三三二七二〇七

## 三里塚・反合を闘う本物の労働運動をつくりだそう

全組合員の皆さん、全国の闘う仲間皆さん！ 動労千葉は、3月6日、習志野文化ホール(津田沼駅南口)において「82ジェットスト一周年、三里塚二期着工阻止、右翼労戦「統一」粉碎、82反合・春闘勝利、3.6全国労働者集会」を開催します。日本支配階級が戦争体制構築にむけ、一大反動攻勢を強めているいまこそ、本物の闘う労働運動をつくり出し、歴史の流れを力強く変えていこうではありませんか。

### 三里塚・国鉄から反撃を！

現在、国鉄労働者に対するさまざまな攻撃が、集中的にかけられています。「35万人体制」はあろうか、「オ2臨調」では、「民営化・分割」による「25万人・20万人体制」をうち出すと共に、商業新聞を使った「マミ・カラ」超勤摘発と称する既得権はく奪攻撃、連日のキャンペーンが展開されています。

敵の狙いは明らかです。体制的危機の深刻化の中で、戦に延命の道を求める支配階級は、戦後労働者・人民が闘いの中で勝ちとってきた平和・民主主義・基本的権利等々の一切の既得権をうばいとり、その頂点としての改悪攻撃、労働者を無権利状態に叩きこんで、戦争のできる社会・体制に変えようとしています。

なかでも、いまなお戦闘性を保持している国鉄労働運動を何としても解体したいという敵の至上命令は、三里塚闘争の解体・反対同盟破壊攻撃と軌を一にした、極めて意識的な同根の攻撃として、現在救急かけられてきているのです。労働運動の分野で、右翼労戦「統一」総評解体、同盟・J.C(国鉄)の鉄労主導の帝国主義労働運動育成、労働運動の産業報国会化の攻撃と、「行革」・「オ2臨調」攻撃の核心はこの点にあります。

こうした攻撃に対し、闘う側の状況

は、どうでしょうか。

総評労働運動は、敵の攻撃の迫力の前に右往左往します。ますます屈服を深めています。国鉄労働運動、とりわけ労は、武藤書記長提言のように「田村完運輸構構想」の「かり構造欠損会計方式」構造的赤字部分を欠損会計とし、その上で合理化を主張し、企業防衛主義におちこんでいます。

### 動労「本部」革マルの「傍ら」運動を弾劾する

一方、動労「本部」革マル反動分子は、「国鉄問題に関する動労の考え方」「国鉄の社会的必要論」「傍ら運動」なる超反動的方針を発表しました。彼らは「情勢が厳しい」「だから闘うべきではない」「ストライキや東力闘争は、敵の思うツボにはまる」から、「今こそ国鉄を守る」「私鉄なみに傍ら」「一生懸命働かねばならない」「その事が一番大事だ」「一生懸命働けば危柱をのり切れる」といっています。

この運動こそが真正正銘の生産性向上運動、企業防衛主義そのものであり、産業報国会運動の火女でなく、何でしょうか。

### 反対同盟解体攻撃を許すな

また、こうした、反動攻勢は、もう一方の闘う柱、三里塚反対同盟に対し、「話し合い」条件への変更、女がかえの攻撃として、激化しています。これは、戦争体制構築にむけて、反

対同盟を解体し、労働運動を分断し、反戦の若、三里塚闘争そのものを解体する二期着工攻撃そのもの、だと言えます。17年間、非妥協不屈に闘いぬいてきた反対同盟は、即座に、「一切の話し合い拒否、豊地死守、空巻廃港」の基本路線をますます高くかかげ、猛反撃にうって出、政府、公団の切り崩し攻撃の手先になり下り、反対同盟前副委員長・前行動隊長(20付)自己批判、解任(石橋、内田両氏を怒りをこめ、徹底断罪して、勝利にむけ、力強く前進しています。

### 3.6の圧倒的成功かちど

### 3.28総決起へ！

まさに、80年代2年目に突入り、階級的救済構造は鮮明になったといえます。すなわち、三里塚と国鉄をめぐる攻防が焦点であり、この闘いに勝利するか否かに労働者・人民の未来がかかっています。なんとしても敵の反動をうち破り、80年代を闘う労働運動をつくり出さなくてはなりません。いまこそ、すべての労働者が二期着工阻止に立ち上り、三里塚を闘う労働者の力で、一切の反動をうち破ろう。3.6集会に結集し、右翼労戦「統一」を粉碎し、82反合春闘に勝利しよう！

### 3.6全国労働者集会

日時：3月6日(土)午後5時半  
会場：習志野文化ホール(津田沼駅)  
基調：中野洋書記長(南口一分)  
各界：労組挨拶、三里塚反対同盟報告、特別報告：西畑フミコ(フルト労働者対運動)